

## 2. Active-Interactive キャンパスの整備、魅力化の推進

甲南学園発祥の地であり、メインキャンパスとして6学部(文学部、理工学部、経済学部、法学部、経営学部、知能情報学部)、3研究科(人文科学研究科、自然科学研究科、社会科学研究科)および法科大学院が拠点とする岡本キャンパスは、そこにいるだけで異なる学部の学生同士がつどい、刺激し合い、融合する場として機能しています。また、西宮キャンパス(マネジメント創造学部)、ポートアイランドキャンパス(フロンティアサイエンス学部・研究科、先端生命工学研究所)は、さらなる可能性を広げる両ウイングとして先進的な学びや研究が展開しています。さらに、六甲アイランド総合体育施設、平生記念セミナーハウス、ネットワークキャンパス東京は、正課体育授業、課外活動や研究活動、地域連携活動などに活用しています。

甲南新世紀に向けては、新たに整備されたセミナーハウス「白川台キャンパス」や、2017年9月竣工予定のKONAN INFINITY COMMONSを加え、相互啓発、融合、創発が起こる活気あふれるActive-Interactive キャンパスのさらなる充実化を進めていきます。



ポートアイランドキャンパス



六甲アイランド総合体育施設



西宮キャンパス

## (1) KONAN INFINITY COMMONS (略称 iCommons)の新設

学園創立100周年記念事業のひとつとして、岡本キャンパスの学生福利厚生ゾーン(旧学生会館・文化部室・学友会館など)の再開発を行い、岡本キャンパスの結節点(多様なひと・情報が混ざり合い、刺激し合う場)、オープンとシェア(活動の可視化・柔軟に使いまわせる施設)、アクセシビリティ(アクセスしやすい施設)をコンセプトとした iCommons が2017年9月に竣工します。延床面積は従来の約1.7倍に拡張され、食堂、カフェ、部室などの各種課外活動施設、吹き抜け空間に設けられる大階段ホール「Agora」に加え、プロジェクト・ルーム、学生ラウンジが随所に設けられます。また、学生部、キャリアセンターも移転し、甲南新世紀にふさわしい新たな機能を発揮する Active-Interactive キャンパスの中核施設として活用していきます。



iCommons 完成イメージ1 (外観)



iCommons 完成イメージ2 (内観)



## (2) 白川台キャンパスの活用促進と拡充

2016年5月にオープンした新セミナーハウス「白川台キャンパス」(体育館、グラウンド、環境教育設備をそなえ、約200人が宿泊して学べる施設)の積極的な活用をはかり、さらに体育施設の拡充や環境教育の場としての整備を進めます。



## (3) キャンパスの Active-Interactive 化の推進

2016年9月、岡本キャンパス7号館1階にサイエンス・ラーニングcommonsを整備し、融合サイエンス・リベラルアーツ教育の拠点として活用していきます。また、10号館の整備を進め、3号館、5号館、11号館など岡本キャンパス内の複数動線の活性化、バリアフリー化を進めるとともに、BYOD(Bring Your Own Device)に対応したネットワークファシリティーを整備します。さらに、西宮キャンパス、ポートアイランドキャンパスとの3極融合、ネットワークキャンパス東京の活用も促進します。



サイエンス・ラーニングcommons



ネットワークキャンパス東京